

発行 明石市議会 市民の会 〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1 丁目 5 番 1 号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com ※この市政だよりは、明石市議会「市民の会」政務活動費によって発行されています

市政報告会を行います

お買い物やお出かけのついでにお気軽にご参加下さい！

入退場自由
参加無料
飲食 OK!

報告会では、それぞれの一般質問と市からの回答について深掘りします。
※子育てやお仕事忙しい方のために、Xでオンライン配信もいたします。

市民の会のX



8月2日(土) 18時～20時

パピオスあかし2階 あかし市民広場 JR明石駅南口すぐ
(明石市大明石町1丁目6-1)



2024年4月のあかし市民広場 市政報告会の様子

市政トピック

①「単純指定ごみ袋」導入の条例改正にNO!

ごみ減量に向け、令和9年3月からごみ袋を変更する条例改正が議案に。

市民の会は、ごみ減量にはYES。市の進め方にNO。

「今の袋のまま、まだできることがある」と反対しました。

しかしながら、賛成多数で条例改正に。

これから各小学校区で市による説明会が始まります。

《反対討論のポイント》

- 「単純指定ごみ袋」や「ごみ減量の必要性」についての市民の理解が進んでいない中、「先に条例を決めて、後から市民に説明する」という進め方は『対話と共創』ではない。
- 「市民に説明を尽くしてから条例改正」や「市民と減量目標に取り組む共創施策実施」等の余地があるはず。
- 色、形、大きさが変わることに対する障害当事者の声は聞いているのか。

条例改正

賛成▶自由民主党明石、公明党、明石かがやきネット、明石維新の会、スマイル会

反対▶市民の会、日本共産党、対話の会あかし

スケジュール

- R7年3月～4月 条例改正パブコメ
- 6月 6月議会 条例改正案提案
- R7年7月～R8年3月 指定ごみ袋市民説明会・ごみ袋デザインアンケート
- R8年9月～R9年2月 指定ごみ袋移行期間(6ヶ月)
- R9年3月～ 指定ごみ袋本格導入

反対討論
全編はこちら



11:10～

単純指定ごみ袋って？
広報あかし1425号→



② 明石サービスエリアへのスマートインターチェンジ設置にNO!

新年度の主な取組の一つ「石ヶ谷公園における梅林の保全を前提とした整備ルート及び総事業費等の調査・検討」について、以下の視点で一般質問をおこないました。

市民の会からの質問

- ① 大久保ICと玉津IC間は、たった4.3km。その間に新たに必要？
- ② スマートICができることで、その周辺に新たな渋滞を生むのでは？
- ③ スマートIC設置は、「周辺の開発」とセットといわれる。大久保北部の里山の開発を招く一歩になるのでは？
- ④ 石ヶ谷公園の梅林がなくなってしまうのでは？
- ⑤ 少子高齢化、人口減(車も減!)の時代と逆行では？
- ⑥ 市の財政見通しを市民に説明し、それでも必要か聞いてみては？

市の答弁要旨

利便性・渋滞解消・防災対策・地域活性化などの効果に期待。(予算をかければ)渋滞は解消可能。開発とセットでなくとも、スマートICだけで意味がある。梅林保全ルートを検討し、難しければ「梅林機能」保全方法を考える。市長が自然を守りたくても、市民が残したいと思っていないと守れない。市民には説明し、対話したい。



4月～6月の活動など



二見図書館「ふたみん」オープン



県立がんセンター起工式



大蔵海岸のタウンミーティング傍聴



飼い主のいない猫の譲渡会

山中 裕司 やまなか ゆうじ 建設企業常任委員会所属

災害による直接死だけでなく、避難生活中に亡くなる災害関連死と避難所トイレの衛生管理も重要課題だとして質問。物価高騰の中、子育て世帯の生活支援の必要性についても訴えました。

災害時における避難所の環境整備&物価高騰による子育て世帯の生活支援について

山中からの質問要旨

①災害関連死を防ぐには避難所の質の向上、医療支援、トイレ環境の整備が重要では。②子育て世帯に対し「お米ギフト券」を配付するなどの生活支援ができないか。こども食堂には補助金の増額や米の配布など緊急対策を。



明石市の答弁要旨

①避難所を良好な衛生環境とするために、保健師の巡回や明石市医師会とも連携し、取り組んでいく。②実施には、給付対象者の選定や給付額の検討が必要。こども食堂の継続的な運営を支えるために状況を確認する。



中川 夏望 なかがわ なつみ 文教厚生常任委員会所属

下記のほか、保育所のお昼寝について質問しました。保育所指針等では、睡眠時間はこどもに合わせて一律にならないよう要請されていることを指摘。市内保育施設に周知するとの答弁を得ました。

学校給食の充実について

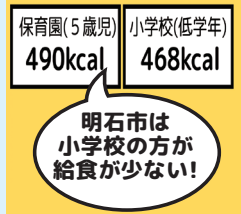
中川からの質問要旨

①低学年の給食の提供量は保育園の年長より少ない。実態を把握し、保育園より多い量を提供しないか。②小中学校とともに十分な栄養量を提供しないか。③今後の物価高騰への対応は。④小学校の給食無償化後も質を維持しないか。



明石市の答弁要旨

①学年ごとの残食量を調査する。保育園より少なくても、こどもたちの栄養に支障がない範囲であり、問題ないと考えている。②提供量は十分だと考えている。③必要に応じて更なる対策を考える。④質を損なわないよう努める。



上田 雅彦 うえだ まさひこ 総務常任委員会所属

このたび市民の会に仲間入りしました

下記の質問のほか、市東部エリアで「たこバス」の恩恵を受けられない高齢者の移動問題を提起。同じ税負担にもかかわらずサービス格差が生じている点について、市の公平性の認識と今後の対応について質問しました。

子どもの受動喫煙防止について

上田からの質問要旨

子どもを受動喫煙の害から守るため、現状の相談実態や健康リスクへの認識、庁内連携体制の強化、理念を示す宣言型条例の導入について、市の具体的な対応と今後の方向性を問いました。



明石市の答弁要旨

子どもの受動喫煙防止は重要と認識しており、関係部署で連携しながら啓発や情報提供などを実施中。今後も他自治体の事例を参考に、子どもの健康を守るために条例化も含めてしっかりと進めていく。



山下 祥 やました しょう 建設企業常任委員会所属(委員長)

夏の水難事故ゼロへ、ライフジャケット普及の先進事例「香川モデル」を提案。また市内小学生の体力テストが全国平均を下回る結果を受け、誰もがスポーツに親しめる環境づくりについて質問しました。

「海のまち」として市民の命を守る施策を「スポーツのまち」として魅力ある環境に

山下からの質問要旨

①大蔵海岸の空洞対策の安全確保状況は。②市民や学校等がライフジャケットを市から気軽に借りられるよう、香川県を参考にレンタルステーションを設置しないか。③移动式バスケット設置の実証実験結果は。



明石市の答弁要旨

①国土交通省と連携を強化。砂浜部分の合同巡視も年4回実施中。②香川モデルを参考に、まずは調査から。③アンケートから市民ニーズの高さを確認。今年度は大蔵海岸多目的広場に設置し、さらなる運営課題の検証へ。



香川モデルでは着用授業も

黒田 智子 くろだ ともこ 総務常任委員会所属

下記のほか、「明石サービスエリアへのスマートインターチェンジ設置は本当に必要か」「高校生への奨学金の予算を削った一方で、太陽光パネル設置に5倍の予算をかけた意義」を問いました。

こどもたちのために何かしたい人、している人を、もっと行政が応援してはどうか

黒田からの質問要旨

あかしこどもサポーター制度を創設しないか。支援団体やボランティア交流会、同じような境遇の保護者交流会を開催しないか。助成金の募集を柔軟にできないか。支援団体向け資金調達講習会を開催しないか。



明石市の答弁要旨

サポーター制度など活動のマッチングや、支援団体等の交流会、助成金の募集方法や支援団体の資金調達講習会について、こども財団と協議する。保護者交流会は、対象・内容・頻度・場所・広報の方法等の充実を考えていく。



不登校に寄り添うおやカフェ

金尾 良信 かなお よしのぶ 生活文化常任委員会所属

住みなれた地域で安心して暮らせる障害者支援(生活用具としてのイヤーマフ、デジタル耳栓を対象種目に)、里親家庭を支える体制の充実化、安全・安心の環境づくりについて質問しました。

地域で里親家庭を支える体制のさらなる充実について

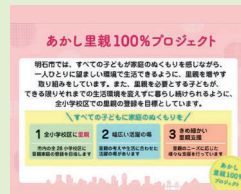
金尾からの質問要旨

障害や発達上の特性を有するこどもが増えている中で、里親家庭への具体的な支援策、里親不在の校区への具体的な取組について市の考えを問いました。



明石市の答弁要旨

こどもの発達状況に応じた支援計画の策定による計画的な支援を実施。地域で活動されているさまざまな団体の会合で里親制度の説明をおこない、地域へ向けたリクルートをより一層展開していきたい。



明石市のホームページより引用